

栃木県わがまち未来創造事業実績書(市町総括表)
【単独・連携事業】

市町名	日光市
-----	-----

(単位:円)

No.	単位事業名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	合計
1	日光国際音楽祭 第二回声楽コンクール	総事業費	3,100,511					3,100,511
		うち市町支出額	2,000,000					2,000,000
		うち県交付金	1,000,000					1,000,000
2	子育て支援プロジェクト	総事業費	2,324,967					2,324,967
		うち市町支出額	2,000,000					2,000,000
		うち県交付金	1,000,000					1,000,000
3	そばづくりを通じた地域の 生きがいをづくり事業	総事業費	881,262					881,262
		うち市町支出額	567,000					567,000
		うち県交付金	283,500					283,500
4	スケートの街日光を再 び盛り上げよう	総事業費	2,264,732					2,264,732
		うち市町支出額	706,000					706,000
		うち県交付金	353,000					353,000
5	中心市街地にぎわい創 出事業	総事業費	3,839,030					3,839,030
		うち市町支出額	1,650,000					1,650,000
		うち県交付金	825,000					825,000
6	日光けっこうフェスティ バル2016	総事業費	13,055,646					13,055,646
		うち市町支出額	7,470,000					7,470,000
		うち県交付金	1,000,000					1,000,000
7	日光いろは坂女子駅伝 大会	総事業費	51,573,615					51,573,615
		うち市町支出額	25,000,000					25,000,000
		うち県交付金	1,000,000					1,000,000
8		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
9		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
10		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
市町計		総事業費	77,039,763	0	0	0	0	77,039,763
		うち市町支出額	39,393,000	0	0	0	0	39,393,000
		うち県交付金	5,461,500	0	0	0	0	5,461,500

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	日光市
事業名	日光国際音楽祭 第二回声楽コンクール
事業主体の名称	日光国際音楽祭実行委員会
代表者の名称	下司 愉宇起
事業主体の所在	東京都新宿区西新宿3-9-28-301
事業主体の概要	<p>・団体の目的: 新たな日光の観光遺産としての礎を築く、日光発信による新人音楽家の発掘、日光地域文化の向上と市民への高レベルな音楽芸術を提供する</p> <p>・設立年:平成27年4月29日</p> <p>・構成員等:地元住民と音楽家 15名</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>本市は、2006年に今市、日光両市と藤原、足尾両町、栗山村の5市町村が合併して誕生したが、現在、少子高齢化・人口減少が大きな課題となっている。</p> <p>本市の特徴として、世界遺産の二社一寺や日光国立公園など豊かな地域資源を有する一方、合併後、クラシック分野の音楽祭やコンクール事業など、文化芸術分野での地域PRIはほとんど実施できていなかった。</p> <p>今後、上記の課題解決のため、芸術文化面も含めて総合的・多面的な地域の魅力を発信し、観光地の優位性をさらに高め、来訪への期待感を醸成し、交流人口を増やす必要がある。</p>
事業目的	<p>・「日光国際音楽祭 声楽コンクール」を開催することによって、日光連山の豊かな自然と有数の世界遺産を抱く日光から、世界的な声楽家を発掘する。</p> <p>・華嚴の滝を登り龍となるごとく、このコンクールが声楽家の登竜門として発展してゆき、ここから誕生する声楽家たちが世界へ羽ばたいてもらう。</p> <p>・また、ピアノやその他の楽器よりも比較的華やかな声楽にすることで市外からの観客動員数を伸ばすとともに、地域市民の音楽への理解を深め、観光遺産として日光のブランドイメージの向上を図るとともに、交流人口を増やし移住・定住化を推進する。</p>
事業概要	<p>【平成28年度】</p> <p>【概要】 日光国際音楽祭 第二回声楽コンクール</p> <p>●予選:実行委員会による音源審査</p> <p>●本選:開催日時:平成28年10月9日 開催会場:日光街道ニコニコ本陣 多目的ホール 本選出場者:32名(大賞、準大賞、奨励賞各1名ずつ選出)</p> <p>本選では一人当たり演奏持ち時間10分間で競い、公開審査とし入場料を無料にしたため、偶然訪れた観光客や市民などが訪れた。観客の中には、本格的なクラシック音楽を初めて聴く観客もあり、自分が住んでいる地域で声楽コンクールが開催されていることに関心を持っていた。</p> <p>【KPI向上の取り組み】</p> <p>・日光市観光大使で、日本全国で数多くの合唱団を指導し自身も多くの楽曲を手掛けマルチに活躍する、声楽家・アーティスト『下司愉宇起』氏が主催団体の代表を務めていることから、知名度のある下司氏が積極的に音楽関係者に事業PRを行った。</p> <p>・事業のPRだけでなく観光PRIにも力を入れ、市及び本大会のブランド力向上に繋げるため、全国の音楽大学への募集要項を送付し、著名な音楽家に審査委員を依頼した。</p> <p>参考:第1回審査員長:東京藝術大学名誉教授・作曲家 佐藤真氏 第2回審査員長:作曲家 青島広志氏</p> <p>【平成29年度】</p> <p>・地域活性化やコンクールの更なる発展を目指しながら、日光国際音楽祭 第三回声楽コンクールを継続して開催予定</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】地域の活力を創出する「ひとの流れ」をつくる</p> <p>【KPI】地域ブランド調査魅力度ランキング H27:14位 → H31年度:10位以内</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度			支援期間の 事業費計	
事業内容	日光国際音楽祭 第二回声楽コンクール				
事業費	3,100,511			3,100,511	
手数	市町支出金 (ソフト事業分)	2,000,000		2,000,000	
	うち県交付金	1,000,000		1,000,000	
	市町支出金 (ハード事業分)			0	
	うち県交付金			0	
	その他自主財源等	1,100,511	0	0	1,100,511

市町担当情報

担当課(クラブ・係)名	日光市地域振興部地域振興課地域振興係
担当者名	森 頌子
電話	0288-21-5147
FAX	0288-21-5109
E-mail	chiiki-shinkou@city.nikko.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	日光市
事業名	子育て支援プロジェクト
事業主体の名称	一般社団法人 Japan元気塾
代表者の名称	古谷 真一郎
事業主体の所在	日光市土沢1855-5
事業主体の概要	<p>・団体の目的: 個々人の職業能力開発訓練及び青少年の健全育成を通じ、日本国及び国際社会に寄与するために、普及啓蒙活動を行い、社会の問題解決を推進することを目的とする ・設立年月日:平成23年3月1日 ・構成員等:地元住民及び関係者17名</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>本市はプロのアイスホッケーチームが拠点を置き、様々な種目においても日光出身の選手が活躍するなど、スポーツが盛んな地域性が大きな魅力の一つであるが、市民の間ではあまり知られていない。 今後、交流人口増加を課題としている本市では、より効果的なシティプロモーションを推進するため、市民、企業、関係団体が連携しながら、まずは市民が本市の魅力的な地域性を知り、市民一人ひとりの意識・愛着度を向上させる機会・場を増やす取り組みが必要である。</p>
事業目的	<p>・アスリートや専門家を招き、講演会やイベントを開催。レベルの高い指導のもとスポーツに触れることで、市民の意識の向上を図り、その重要性やトップアスリートたちが身近な存在だということを感じてもらおう。 ・また当該事業を通じて市民・企業・関係団体との連携を深め、市内外に更なるシティプロモーションを推進し、市民の愛着度向上にも繋げることとする。</p>
事業概要	<p>【平成28年度】 【概要】 ・日光市出身や日光市在住のトップアスリートや専門家を招き、子供や親、教育関係者へむけたトークショーや講演会、イベント(スポーツ教室)を開催した。 ●「現役アスリートによるスポーツスクール」(平成29年1月2日開催) 現役のプロサッカー選手を招き、小中高生と親を対象とした「体の動かし方」「運動の楽しさ」「サッカーの魅力」「サッカーの技術」といったプログラムのワークショップを開催。 ●「Special Talk Live in NIKKO」(平成29年3月5日開催) スポーツや教育の専門家をゲストとして、親や教育者を対象に、「子どもの力の引き出し方」「スポーツの魅力」「才能を引き出す子育て方」をテーマにトークショーを開催。 ・当団体は、青少年の健全育成を目的としていることから、主なターゲットは子育て世代とする。</p> <p>【KPI向上の取り組み】 ・地域に関連のある講師が、子供、親世代へ向けたトークショーや講演会を行って、本市での子育ての楽しさや魅力を提供し、子育て環境の整備と愛着意識の向上を図ることができた。 ・各イベントの周知には新聞広告やインターネットを活用し、市内外にも積極的にイベントをPRを行った。 ・各イベントでは、次の目的・狙いを達成するため、参加者の満足度を高め、本市への愛着度向上を図った。 ●子ども トップアスリートの指導やプレーに間近に触れてもらい、将来の夢を考えること、目標を達成することの大切さを提供するイベントを目指す。 ●親や教育関係者 イベントを通してスポーツをきっかけとした子どもの力の引き出し方やコミュニケーション法を学んでもらうイベントを目指す。</p> <p>【平成29年度】 引き続き、講演やイベントを開催</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】地域特性に応じた持続可能な「まち」をつくる 【KPI】市民の愛着度(市民意識アンケート調査) H27:75.2% → H31年度:85%</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度			支援期間の 事業費計	
事業内容				/	
				2,324,967	
事業費	2,324,967			2,324,967	
手数	市町支出金 (ソフト事業分)	2,000,000		2,000,000	
	うち県交付金	1,000,000		1,000,000	
	市町支出金 (ハード事業分)			0	
	うち県交付金			0	
その他自主財源等	324,967	0	0	324,967	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	日光市地域振興部地域振興課地域振興係
担当者名	森 嬪子
電話	0288-21-5147
FAX	0288-21-5109
E-mail	chiki-shinkou@city.nikko.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	日光市
事業名	そばづくりを通じた地域生きがいがづくり事業
事業主体の名称	栗そば会
代表者の名称	福田 正文
事業主体の所在	日光市黒部116
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的: 地域の協働活動により日光市栗山地域の環境及び経済の改善、魅力を高める。 ・設立年月日: 平成26年5月23日 ・構成員等: 地元住民16名
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>栗山地域は、高地の冷涼な気候を生かした香り高いそばの生産が盛んだったが、近年は鳥獣害被害や高齢化により多くが遊休農地となっている。</p> <p>本市の課題である急速な人口減少・人口流出を抑制し、市内への定住促進を図るためには、当該地区のような遊休農地の再生とともに、地域間の協力体制を構築など、暮らしやすい環境づくりが課題となっている。</p>
事業目的	<p>「栗そば会」では、地区年代を越えた協力体制を構築し会員や協力者とともにそばに関する活動を行っている。</p> <p>そばづくりを通して地域の中学校と共同作業を行い、また観光ツアーの一つとしてそばづくり体験を実施することで、地域と外部をつなげながら、交流人口増加、ブランド力向上、更に市内に住み続ける人の満足度向上を狙う。</p>
事業概要	<p>【平成28年度】</p> <p>【概要】</p> <p>①そばづくり 6月下旬～10月上旬にかけ、そば畑の土づくりから刈り取り、脱穀を行った。 鎌を使つての土づくりは地元中学生の貴重な体験学習であり、本市に魅力を感じ、将来に渡って住み続けてもらうきっかけづくりとなった。 また、会員だけでなく多くの協力者、普段顔を合わせることの少ない地元の人も参加し、種まき・土寄せ・刈り取り・脱穀を行うことで、世代・地域交流の場となった。</p> <p>②栗山そば刈り取り体験(鬼怒川源流栗山ツアー) 平成28年9月17日開催 県内外から希望者を募集し、そばの刈り取り体験だけでなく、栗そば会の活動や、栗山地域の魅力を伝える活動となった。</p> <p>【KPI向上の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記①、②を栗山の情報サイト等で広報することにより、市内外の様々な人が交流する機会を設けることができた。 ・そば等級検査を実施することで、「よりおいしいそば作り」へと参加者の一体感の醸成や意識を向上させることができた。 ・楽しみながらそば作りをする活動、ツアー参加者の感想などを情報サイト等を活用し広く情報発信を行ったことで、市外から人を呼び込み、交流人口の増加につながった。 <p>【平成29年度】</p> <p>引き続きそばづくりを行う。さらに会員や協力者を積極的に受け入れる活動をする。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】地域の活力を創出する「ひとの流れ」をつくる</p> <p>【KPI】日光市に住みたい市民の割合 H27: 73.8% → H31年度: 80%(市民意識アンケート調査)</p> <p>地域ブランド調査魅力度ランキング H27: 14位 → H31年度: 10位以内</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位: 円)

	28年度			支援期間の 事業費計	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・そばづくり ・観光イベントの開催 				
事業費	881,262			881,262	
手続	市町支出金 (ソフト事業分)	567,000		567,000	
	うち県交付金	283,500		283,500	
	市町支出金 (ハード事業分)			0	
	うち県交付金			0	
その他自主財源等	314,262	0	0	314,262	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	日光市地域振興部地域振興課地域振興係
担当者名	森 嬪子
連絡先	電話 0288-21-5147
	FAX 0288-21-5109
	E-mail chiiki-shinkou@city.nikko.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	日光市
事業名	スケートの街日光を再び盛り上げよう
事業主体の名称	日光スケーターズクラブ
代表者の名称	若林 勇太
事業主体の所在	日光市所野2830-11
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:日光市のスケート文化の発展による地域活性化に寄与する ・設立年月日:平成26年4月1日 ・構成員等:地元住民及び関係者10名
当該事業に係る地域の現状と課題	日光市においては、スケートがポピュラーなスポーツとして定着し、競技レベルが高く、全国有数の先進地となっているが、近年は児童生徒数減少に比例し、スケート実践者が減少傾向にある。 本市の人口減少を抑制し、市外への転出を食い止めるには、暮らしやすい環境づくりの提供を推進する必要があるが、首都圏にはない本市の地域特性を活かしきれていない。
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・スケートを通してスポーツの魅力と楽しさ、子どもたちに成長の機会を提供し、日光市のスポーツ文化の発展に伴う、地域活性化に貢献する。 ・本事業を実施することで、スケート先進地のメリットを活かした本市のブランド力・住みやすさを向上させ、人口の転出抑制に繋げる。
事業概要	<p>【平成28年度】 【事業】 ①住民の満足度、子供の競技レベルの向上を図るため、トップアスリートを招いたスケート教室の開催 ・実施日:11/6、11/13、11/20、11/27、12/4、12/11、12/18、12/25、1/8、1/15、2/5、2/12(計12回) ・対象:市内の小中学生(各会定員約30名) ・内容: ゲストコーチとしてトップクラスで活躍した元選手2名が、参加者の年齢・体格・レベルに適した丁寧な指導を実施。スピード・フィギア・ホッケーは問わず、共通する基礎的技術を磨き、どの分野でも活躍できるスキルを習得できるよう指導を行った。 ②一般市民向けのスケート普及事業の実施 ・スケート靴の貸し出しと中古スケート回収 受講者に無料でスケート靴の貸し出しをするため、HPと下野新聞にて不要になったスケート靴の回収を呼び掛けたところ、50足以上集まった。回収したスケート靴は団体側で修理し、子ども達への貸し出しを行うことができた。</p> <p>【KPI向上の取り組み】 ・更なる参加者の増加・満足度向上のため、団体のHPでスケート教室の告知・開催状況・子供たちの感想等を掲載した。加えて、市内の小中学校へのチラシを配布したところ、前年を上回る参加申込みがあり、当初予定していた10回を上回る12回教室を開催。 ・無料で貸し出した靴は子どもたち自らスケートに親しんでもらうため、スケート教室以外でも使用可能とした。今年から貸し出しの靴が増えたため、より多くの子どもが自主的に練習に励み、昨年と比べて技術の上達がみられた。 ・スケートをきっかけにスポーツの魅力と楽しさを伝える取り組みの一つとして、日光アイスバックスと共催で「アイスホッケー体験会」を開催した。スケートを身近に体験できる恵まれた環境が活かされており、市民に暮らしやすさや住み続けたい魅力を感じてもらった。 ・夏に、メンバーの子ども達を集め、市内体育館で「レクリエーション交流会」を行い、子どもたちの基礎体力向上等のトレーニングの他、保護者へ向け今年度の活動内容説明会も開催するなど、環境づくりを積極的に行った。</p> <p>【平成29年度】 引き続き、平成28年度同様に事業を行う。地元企業、団体、地域の人々と協力し、スポーツと地域社会が共存する関係づくりを行う。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】地の活力を創出する「ひとの流れ」をつくる 【KPI】日光に住み続けたい市民の割合 H27:73.8% → H31年度:80%</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度			支援期間の 事業費計	
事業内容					
事業費	2,264,732			2,264,732	
手数	市町支出金 (ソフト事業分)	706,000		706,000	
	うち県交付金	353,000		353,000	
	市町支出金 (ハード事業分)			0	
	うち県交付金			0	
	その他自主財源等	1,558,732	0	0	1,558,732

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	日光市地域振興部地域振興課地域振興係
担当者名	森 頌子
電話	0288-21-5147
FAX	0288-21-5109
E-mail	chiiki-shinkou@city.nikko.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	日光市
事業名	中心市街地にぎわい創出事業
事業主体の名称	にぎわいのあるまちづくり研究会
代表者の名称	古峯 重典
事業主体の所在	日光市今市716
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:①中心市街地活性化のための事業 ②地域住民の交流、地域リーダーの育成 ・設立年月日:平成16年8月2日 ・構成員等:地元住民及び関係者11名
当該事業に係る地域の現状と課題	日光市の中心市街地は古くから日光街道・会津西街道など主要幹線道路の接続点に位置し、今市宿として賑わっていたが、市郊外の道路網の整備に伴い、大型小売店やロードサイドショップ等が相次いで出店したことにより、中心部は空き店舗が目立ち商店街の衰退が進行している。 人口減少等の課題解決を図るため、新たな人を市内に呼び込み、商店街の活性化に取り組む必要がある。
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地活性化事業の継続実施 ・長年続いている「六斎市」を毎月実施することに加え、実験的事業を行うことで活性化を図る。また、地元商店街やまちづくり団体等と連携し、集客施設来訪者の周辺への回遊性を高める。 ・集客施設来訪者の増加により、市内経済の更なる活性化、安定した生活を支える「しごと」づくりに繋げる。
事業概要	<p>【平成28年度】</p> <p>【概要】</p> <p>①「六斎市」の開催(毎月第3土曜日)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地にぎわいづくりを目的としてJR今市駅通りを中心に、地域手作りのあたたかさを感じる地元の野菜や地場産品、アクセサリー、手打ちそばなど20店舗以上が出店し、地域住民と事業者が交流を深める、「市」を開催した。 ・六斎市と併せて、「スポーツカフェ」「よみがえれ今市の昭和」「まち中おまつり広場」等の実験的事業を実施した。 <p>②「日光焼きそばグランプリ2016」の開催(11/20開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地集客施設に人を呼び込むため、今市のメインストリートで実施した。 ・市内外の32店舗が出店し、来場者の多くが投票用紙がついたラリー券を購入。投票による審査が行われた。 <p>【KPI向上の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HPや新聞折り込みチラシ、PRチラシを市の各イベント等で配布したことで、六斎市や焼きそばまつりに人を呼び込むことができた。更に普段車で行き来する区間を歩行者天国にすることによって、来場者が中心市街地集客施設である「ニコニコ本陣」へ訪れる様子がみられた。 ・実験的事業では地元商店街やまちづくり団体と共に話し合いを重ね、一緒に事業内容を組み立てたことで、関係者同士の繋がりを築くことができた。 <p>【平成29年度】</p> <p>引き続き、六斎市の開催と地元商店街等と連携した実験的事業を行う。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】安心して働くことができ、安定した生活を支える「しごと」をつくる</p> <p>【KPI】中心市街地集客施設来場者数</p> <p>H31年度:年間490,000人</p> <p>※H27は「ニコニコ本陣」がオープンしたため、862,790人が来場し、戦略策定時の数値を上回った。新たな数値設定は検討中。</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度			支援期間の 事業費計	
事業内容	・六斎市、焼きそばまつり運営費				
事業費	3,839,030			3,839,030	
手数	市町支出金(ソフト事業分)	1,650,000		1,650,000	
	うち県交付金	825,000		825,000	
	市町支出金(ハード事業分)			0	
	うち県交付金			0	
その他自主財源等	2,189,030	0	0	2,189,030	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	日光市地域振興部地域振興課地域振興係
担当者名	森 嬪子
電話	0288-21-5147
FAX	0288-21-5109
E-mail	chiiki-shinkou@city.nikko.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	日光市
事業名	日光けっこうフェスティバル2016
事業主体の名称	日光けっこうフェスティバル実行委員会
代表者の名称	斎藤 文夫
事業主体の所在	日光市今市本町1番地
事業主体の概要	<p>・団体の目的: 気候が比較的安定し空気の澄む秋に花火大会のほか自然に親しむイベントを開催し、市民及び近隣市町村住民並びに行楽のお客様に印象に残る日光の秋を楽しんでいただき、10万人の集客を目標とする日光の新たな名物を創出していく。</p> <p>・設立年月日:平成7年4月1日 ・構成員等:市内各種団体長等80名</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>世界遺産の二社一寺や日光国立公園を有する当市は1年を通じて多くの観光客が訪れ、中でも秋は紅葉により観光客が特に増加するが、市外からの観光客と地域住民との交流の機会がないため、地域の魅力を広く効果的に発信できていない。</p> <p>よって、多くの集客・リピーターが見込める秋に、観光客・地域住民の多様なニーズに応え、地域も人も巻き込むイベントを実施することにより、国際的な観光都市としての当市のブランド力をより一層向上させ、交流人口の更なる増加とひいては移住・定住に繋がる機会を創出する必要がある。</p>
事業目的	<p>・イベントを通して日光の強みである観光の部分を中心に日光市の魅力を発信し、交流人口の増加を目指す。 ・観光客のニーズに応えるため、地域の商店と連携し、誰にでもやさしい観光のまちづくりを目指す。</p>
事業概要	<p>【平成28年度】 【概要】 ①日光運動公園にて、以下の様なイベント実施やブースを設置し、市の魅力発信を行った。(10/8開催) ・日光下駄飛ばし選手権大会 ・関東一芋煮会 ・石ころアート体験コーナー ・健康増進啓発コーナー ・警察や消防による、砂防・防災コーナー ・フリーマーケットやファミリーイベント 等 ・模擬店を出店(※会場に出店する模擬店は市内で募集) ②日光秋の花火(10/8)を大谷川河畔で実施 ③日光伝統工芸品展示審査会(10/6~10/9)を日光木彫りの里工芸センターにて開催</p> <p>【KPI向上の取り組み】 ・日光下駄飛ばしや石ころアート体験により地域住民・観光客が交流できるブースを設け、日光伝統工芸品展示会を同時開催したことにより、地域資源を活かした体験型・交流型の要素を取り入れながら、各地域の自然・歴史・文化・伝統産業など日光市の魅力を幅広く発信し、交流人口増加、定住化を推進する機会となった。 ・模擬店では市内の味自慢のお店以外にも、健康増進啓発コーナー、警察や消防による、砂防・防災コーナーを設けることで、市の観光面だけではなく、住民に寄り添った生活情報を発信し、市民だけではなく観光客へ日光市の住みやすさをPRし、移住・定住の促進を行った。 ・また、県内外にHPやチラシによりイベントのPRを行い、当日は東武日光駅から無料シャトルバスを提供することで、多く人が参加しやすいよう準備を進めた。 ・日光秋の花火は、種類・構成等に演出を凝らしショーの要素を強調した近辺に類をみない花火大会となっており、集客効果が高いこのイベントを夜に開催することによって、宿泊も含めて観光客を長時間滞在させ、地域経済の活性化や日光市の魅力を発信する機会の増加を促進した。</p> <p>【平成29年度】 平成28年度の取組成果を踏まえ、地域ブランドの更なる向上に寄与する事業として実施する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】地域の活力を創出する「ひとの流れ」をつくる 【KPI】地域ブランド調査魅力度ランキング10位以内 H27年度:14位 ⇒ H31年度:10位以内</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度			支援期間の 事業費計	
事業内容	日光けっこうフェスティバル2016の開催				
事業費	13,055,646			13,055,646	
市町支出金 (ソフト事業分)	7,470,000			7,470,000	
うち県交付金	1,000,000			1,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	5,585,646	0	0	5,585,646	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	日光市地域振興部地域振興課地域振興係
担当者名	森 颯子
電話	0288-21-5147
FAX	0288-21-5109
E-mail	chiki-shinkou@city.nikko.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	日光市
事業名	日光いろは坂女子駅伝大会
事業主体の名称	『日光をランナーの聖地』とする実行委員会
代表者の名称	斎藤 文夫
事業主体の所在	日光市今市本町1番地
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的: <ul style="list-style-type: none"> ○日光いろは坂女子駅伝の開催に必要な準備と大会の運営に関する事業を行うことを目的とする。 ○市内でのマラソン大会の実施。地域のスポーツ振興に資するだけでなく、日光市のPRやイメージの向上に大きく貢献する。 ・設立年月日:平成25年11月29日 ・構成員等:各種団体長等187名
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>日光市の観光資源である「いろは坂」をコースに含む女子駅伝大会を実施することで、地域のスポーツ振興に資するだけでなく、日光市のPRやイメージの向上に大きく貢献することが期待できるが、今年が第3回目で開催して間もない大会のため、知名度が高くなく県内外に大会の存在・魅力を十分にアピールできていない。</p> <p>本大会の参加者資格は日本学生陸上競技連合に登録している現役大学生や登録経験がある卒業生と定められており、参加者のレベルは高いため、当市の新たな地域資源・観光情報として成長させ、ブランド力を向上させる取組の一つとするためには、今後も大会を継続的に実施し、更に発展させていくことが重要である。</p>
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・全国の大学チーム(主に関東圏を中心とした)に参加を募り、将来的には「男子の箱根、女子のいろは」と呼ばれるような大会にすることを目的とし、日光市のブランドイメージの向上を図る。 ・大会情報に加え、本市の豊富な地域資源・観光情報を併せてテレビやラジオ、インターネットによって発信することで、本市の地方創生を推進させ、ブランド力を向上させる取組の一つとする。
事業概要	<p>【平成28年度】</p> <p>【概要】</p> <p>日時:平成28年11月27日(日) 午前8時30分～</p> <p>コース:日光だいや川公園から日光二荒山神社中宮祠までの6区間23.4kmの標高差約875mのコース</p> <p>参加チーム:15大学16チーム(学生チーム(現役学生のみ)、混合チーム(現役学生及びOG))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大会の様態をテレビで放映し、大会及び日光市の魅力を全国に広く発信。 ・表彰式は日光二荒山神社参集殿で行い、日光杉を使用したトロフィーや、日光彫りの楯などを賞品として提供した。 ・「オフィシャル応援バスツアー」を実施。 <p>【KPI向上の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テレビ放映のほか、大会の映像・写真・記事・個人記録などは、ラジオ・新聞・雑誌・インターネット等の媒体で積極的にPRを行った。世界遺産だけでなくマラソンやアイスホッケー等のスポーツも盛んな本市の魅力を広く発信する新たな観光スタイルを提案した。 ・優勝杯は日光杉並木の並木杉を使用し、世界遺産を守る職人が二社一寺と同じ材料を用いて、漆塗り・金箔・彩色を施している。また、優勝の文字と大会名などは日光の伝統工芸である日光彫りによるものであり、地域の魅力あふれる文化・伝統産業のPRとなった。 ・応援バスツアーの実施によって地域経済の活性化に繋げ、参加者には大会の応援だけでなく、ツアー中で本市の持つ地域資源に触れる機会を増やすことで、大会開催を契機に更に観光客を呼び込み、交流から移住・定住に繋がる取り組みとなった。 <p>【平成29年度】</p> <p>平成28年度の取組成果を踏まえ、地域ブランドの更なる向上に寄与する事業として実施する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】地域の活力を創出する「ひとの流れ」をつくる</p> <p>【KPI】地域ブランド調査魅力度ランキング10位以内</p> <p>H27年度:14位 ⇒ H31年度:10位以内</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

事業内容	28年度			支援期間の事業費計	
	市町支出金(ソフト事業分)	うち県交付金	その他	市町支出金(ハード事業分)	うち県交付金
日光いろは坂女子駅伝大会の開催					
事業費	51,573,615			51,573,615	
市町支出金(ソフト事業分)	25,000,000			25,000,000	
うち県交付金	1,000,000			1,000,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	26,573,615		0	26,573,615	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	日光市地域振興部地域振興課地域振興係
担当者名	森 颯子
電話	0288-21-5147
連絡先 FAX	0288-21-5109
E-mail	chiki-shinkou@city.nikko.lg.jp